



竹田 英司

フアンの方からマスクをいただいた。このご時世にありがたいと思うと同時に、苦しい時に手を差し伸べてくれるフアンの人情味が何ともうれしい。

人情味と言えば、吉岡光大選手だ。私がミスをして選手たちに謝罪したことがある。吉岡選手は「そんなことで謝らなくていい。竹田さんは早く元気にな

人情味豊か 吉岡選手

ってください」とかばってください。寡黙で一本気、そして困っている人に優しい九州男児だ。取材対象に指名すれば、「俺なんかより他の選手にしてあげて」と目立つことを避ける。恥ずかしがり屋だ。

居残り練習では相手の体勢が整ってからサーブを打つ唐川大志選手に対し、吉岡選手は息つく暇もなくサーブを打ち続ける。だから吉岡選手がサーブ役になると手伝う私は大変だ。そういうところにも個性が出るのが面白い。余計なことを言わず、黙々と努力する姿はまるで古武士のようだ。

吉岡選手はベンチ入りすると、コート脇で写真撮影する私とハイタッチをしてくれる。「一緒に戦うぞ!」。そう言われているようで心温まる瞬間だ。今後は試合に出た吉岡選手の写真をもっと撮影したい。

(JT広島マネジャー)

ミニゲームで普段と違うセッターに入り、楽しそうにプレーする吉岡選手

